

# 全学スピーチマニュアル 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 目次.....                      | 1  |
| 1 端書.....                    | 1  |
| 2 What is Speech? .....      | 2  |
| 3 Prepared Speech .....      | 3  |
| ①Topic.....                  | 4  |
| ②Research・Brainstorming..... | 4  |
| ③Main Claim .....            | 4  |
| ④Logic Chart .....           | 4  |
| ⑤Outline.....                | 8  |
| ⑥Paragraph Chart.....        | 17 |
| ⑦English Writing .....       | 17 |
| ⑧Rewrite .....               | 18 |
| ⑨Title.....                  | 18 |
| ⑩Native Check .....          | 19 |
| ⑪Memorizing.....             | 19 |
| ⑫Presentation.....           | 19 |
| 4Presentation .....          | 20 |
| 5English .....               | 23 |
| Pronunciation .....          | 23 |
| Intonation .....             | 23 |
| 文レベルでのアクセント .....            | 23 |
| リエゾン.....                    | 23 |
| 主な発音記号.....                  | 24 |
| Illustration.....            | 27 |
| 6Extemporaneous Speech.....  | 30 |
| ①Title.....                  | 31 |
| ②Conclusion.....             | 31 |
| ③Introduction .....          | 32 |
| ④Body.....                   | 32 |
| ⑤Memorizing.....             | 33 |
| ⑥Presentation.....           | 33 |

# 1 端書

MESS のみなさん、こんにちは。

Public Speaking はスピーチの初心者から中級以降を目指すひとまでに役立つマニュアルです。

スピーチの作り方、発表の仕方等が書かれています。スピーチがどのようなものなのか大まかにでも把握して戴ければ幸いです。

## 2 What is Speech?

スピーチとは壇上に立って聴衆の前で発表するという行為を意味します。その目的は、自分の調べたことを聴衆に知らせる (speech to inform)、自分の意見を聴衆に受け容れてもらう (speech to persuade)、自分の提案に従って聴衆に実際に行動を起こしてもらう (speech to actuate) など様々あるのですが、どの場合にしても支離滅裂なことを話したり、自分勝手なことを話したりしては、聴衆には話者の言葉は伝わりません。これではわざわざ人前に立って発表する意味がなくなってしまいます。ですからスピーチでは、自分の意見や考えに明確な論理性を与えること、聴衆が理解しやすいように話を展開させること、また効果的な話し方をすることが重要になってきます。

### スピーチの種類

ここで、実際に皆さんが ESS 活動の中で経験するスピーチを分類しておきます。

#### ① Prepared と Extemporaneous

##### ① Prepared Speech

前もって完全に作成したスピーチを暗記して七～八分間で発表するもの。

##### ② Extemporaneous Speech

タイトルが与えられてから 15 分間の準備時間の間にスピーチを作成し、メモを見つつ四分間で発表するもの。

#### ② P-S 型と C-A 型

##### ① P-S 型 (problem-solving type)

現状に不満や問題点があるので「こうして解決しよう」という提案を示す型のスピーチ。

##### ② C-A 型 (comparative-advantage type)

現状で取り立てて悪いことが起こっているわけではないが「こうすればもっとよくなる」という方向性を示す型のスピーチ。

### 3 Prepared Speech

Prepared Speech では前もって原稿を作成するわけですが、スピーチをより説得力のあるものにするには綿密な構成が必要となります。そのための作成手順は以下のようになります。

- ① Topic
- ② Research・Brainstorming
- ③ Main Claim
- ④ Logic Chart
- ⑤ Outline
- ⑥ Paragraph Chart
- ⑦ English Writing
- ⑧ Rewrite
- ⑨ Title
- ⑩ Native Check
- ⑪ Memorizing
- ⑫ Presentation

## Topic

何について自分の意見・考え方を発表するのかを決めます。自分が興味を持てるものを選びたいのですが、同時に **significance** があるもの（⇒早急に解決されなければならない問題であること）でなければなりません。

## Research・Brainstorming

### Research

トピックが決まってもすぐ書き始めてはいけません。そのトピックについての知識を補充しておかなければなりません。専門家の言葉の引用、数値（パーセンテージ）、具体例、その他選んだトピックに関する情報を調べ上げて下さい。専門家の言葉はそのスピーチに説得力を、数値はそのスピーチに客観性を持たせるのに有効です。本を読んだり、インターネットで検索したりしてリサーチしましょう。

### Brainstorming

ブレインストーミングとは選んだトピックについて連想できることを全部紙の上に書き出してみることです。関係のないと思うようなことでも全部書き出してみてください。紙に書き出すことで自分がそのトピックについて思っていたことを再認識することができますし、自分が無意識に思っていたことに改めて気付くこともあります。また、頭の中では混沌としたものだったのが、書き出すことによって次第に整理できてくるはずです。

## Main Claim

**Main Claim** とは「結局自分が言いたいこと」です。スピーチの中では説得力を出す為に色々なことを言いますが、それらはすべてこの **Main Claim** を効果的に伝えるが為に言っているのです。スピーチを書き始める前にまず「自分は何を一番に言いたいのか」をしっかりと自分自身で確認して下さい。また、書いている途中、自分は何を言っているのか分からなくなって行き詰まることがあると思いますが、そうなった時も「自分は結局何を一番に言いたいのか」にもう一度立ち返ってみて下さい。道は開けるはずです。

## Logic Chart

**Logic Chart** とはスピーチの構成要素を書き並べたものです。ここでは先に述べた P-S 型のスピーチと C-A 型のスピーチに必要な構成要素を紹介します。

## P-S 型

**Problem**（問題）：現状で生じている問題の説明。

**Harm**（害）：問題から生じる害。もしくは、問題によって将来生じるであろう害。

**Cause**（原因）：問題の原因。

**Solution**（解決策）：問題を解決する方法。

## C-A 型

**Under Status Quo**（現状）：現状の解説。

**Ideal Situation**（理想状態）：こうなればもっといいということを主張。

**Significance**（重要性）：理想状態にすることの重要性。

**Analysis of Status Quo**（原因分析）：何故理想に近づかないのか原因分析。

**Suggestion**（提案）：理想に近づくためにはどうするべきなのか。

それぞれの型のスピーチに必要な構成要素が上のようになるのは、そのスピーチが持つ性質を考えれば納得して戴けると思います。もう少し具体的にいうと P-S 型は『現状に不満や問題点があるので「こうして解決しよう」という提案を示す型のスピーチ』ですので、現状で起きている問題（**Problem**）がどういったもので、そこからどのような害（**Harm**）が生じているのかをまず述べなければなりません。その上で解決策（**Solution**）を提示するのですが、解決策とは問題の原因（**Cause**）を打ち消すものですから、それも提示する必要がでてくるわけです。C-A 型も同様です。

しかしながら P-S 型のスピーチなら上に述べた四要素を述べなければならないのかというと必ずしもそういうことではなくて、この四要素を入れると比較的話を分かりやすく展開させることができるという程度のものだと認識して下さい。あまりガチガチに考える必要はありません。C-A 型についても同様です。

次にそれぞれの要素についてどのような点に留意しなければならないかを簡単に述べておきます。

## P-S型

### Problem について

本当に現状でこの問題が起こっているということを証明することが最重要になってきます。数やパーセンテージを使って「現在日本でこの問題が～件起こっています。」といった具合に示したり、実際に起こった事件を盛り込んだりして **Problem** の存在を証明します。

### Harm について

提示した **Problem** から本当にこのような害が生じるということを示します。その害がいかに深刻であるかということを描写するのがここでは一番重要になってきます。人命が **Harm** なら「～のせいで何の罪もない人々の命が失われています。これは許されることではありません。」といった具合に比較的楽にその深刻さを表現することができますが、一見大した害でないようなものも書き方次第でその重要性を表すことができます。

### Cause について

ある問題に対してその原因がたった一つしかない、ということはまずありません。本来なら問題に対する原因全てを言及すべきなのでしょうが、発表する時間の都合上（7分程度）原因全てに触れるのは不可能です。ですから、幾つかあるうち最も重要な原因を一つ（もしくは二つくらいまで）選んで提示しましょう。

### Solution について

**Cause** をいかに解決するかがここで問題となります。ここで注意すべき点は、その解決策が本当に**実行可能**（**実行可能性**、**practicability**）であるのか、本当に**効果**（**実効可能性**、**workability**）があるのか、最善の解決策であるのか、といったようなことです。また解決策からくる **Disadvantage**（不利益）が少ないということも重要になってきます。**Solution** を考える際には以上のような点を考慮に入れて下さい。

また、それぞれの要素につながり（リンク）があるかどうかもしっかりと確認しなければなりません。つまり、提示した **Problem** が本当に **Harm** を引き起こしているのか、**Cause** が本当に **Problem** を引き起こしているのか、自分の **Solution** で本当に **Cause** を解決できるのか、といったようなことです。各要素のリンクが弱ければ、スピーチに説得力を持たせることが出来ません。**Logic Chart** が出来上がった段階でちゃんと確認しておきましょう。

## C-A 型

### U.S.Q.について

P-S型の **Problem** に対応します。現状はこういう状態であるということ自分なりに説明します。その際に、専門家の言葉を引用したりデータ（数、パーセンテージ）を盛り込んだりするとより説得力が出ます。

### Ideal Situation について

理想的な状態とはどういったものなのかを自分なりに定義して描写します。出来るだけ具体的に述べるよう心がけて下さい。聴衆がイメージしやすくなります。

### Significance について

P-S型の **Harm** に対応します。現状を理想状態にすることの重要性を提示します。現状とどういふ点が違うのかを **Ideal Situation** で述べて、それがどういった点でより好ましいのかを表現することによって **Significance** を示すことが出来ます。

### A.S.Q.について

P-S型の **Cause** に対応します。留意する点もそれに同じです。もっとも大きな原因だと思われるものを選んで提示します。

### Suggestion について

P-S型の **Solution** に対応します。留意する点もそれに同じです。やはり、実行可能であるのか、実効性があるのかどうか重要になってきます。

リンクはP-S型と同様重要です。

次にP-S型、C-A型の **Logic Chart** の具体例を見てみましょう。



## P-S 型

**Main Claim** : 森林破壊を食い止めよう

**Problem** : 世界的規模の森林破壊が今も進行中である。

**Harm** : 地球温暖化で海水の水位が上昇し、やがて陸地は海に沈み人類滅亡。

**Cause** : 資源の浪費、木材の輸出国は工業力がない為、木材を輸出するしかない。

**Solution** : 浪費をやめて節約しよう。政府はODA を強化して輸出国の工業化を助けるべきだ。

## C-A 型

**Main Claim** : 思い出深い結婚式を挙げよう。

**Under Status Quo** : 日本の結婚式は費用がかさむだけでどれも同じ。

**Ideal Situation** : 思い出深い結婚式を挙げる。

**Significance** : 結婚式は人生で一番幸せな日

**Analysis of Status Quo** : 結婚業界は利益追求のことしか考えていない。みんな最初からセツトプランになっている方が楽と思っている。

**Suggestion** : 神社などで結婚式を挙げ、お気に入りのレストランでレセプションしよう。

## Outline

Logic Chart によってスピーチの大まかな骨組みが出来たら、次に作るべきは Outline (Flow Chart) です。これは Logic Chart に肉付けしてスピーチ全体の流れを組み立てたものです。具体的には、Logic Chart で作った Body (本論) に Introduction (序論) と Conclusion (結論) を付け加えたものです。

Introduction, Body, Conclusion について軽く述べておきます。

## Introduction

スピーチを始めるきっかけとなる部分のことです。スピーチ全体の 10 パーセントくらいの分量にするのが適当だと言われています。Introduction の目的はオーディエンスの注意を引き付けること (Attention Getting) と自分がこれから何を話すのかについて軽く触れること (Preview) です。特に Attention Getting は重要です。というのも、自分のスピーチを最後まで聞いてもらうためには、最初がっつりと聴衆の心を掴んでおく必要があるからです。

ここで実際スピーチで使われた Introduction の例をいくつか載せておきます。

## 事実の引用

Recently, mental disease has been one of hot topic. Especially, the case in Kobe revealed the crimes by those who are suffering mentally. But you would be surprised to know how mentally disordered criminals are treated after judgement and how it causes the serious situation. Today, I have come here to discuss what we should do to deal with their crimes.

下線部が Preview です。この例では事実を引用することによって円滑に Preview につなげています。

## 自分の経験で始める

Spring of 1996. I was all ready to go, filled with joy and excitement to go to the school I've always dreamt of, Waseda University. But, to shadow my view from my dream, a huge "can" stood right in front of me. I could not stand its experience and now, I go to a different school. (中略) Today, I want to focus on the "can" that made me give up my dream. The "can" which Japanese workers use every day to go to their jobs. The "can" which ships human flesh every morning and every night from their homes to their working places. The "can" I'm talking about is a mental can which all of us have to bear, the rush hour commuter train.

ここでは commuter train を can という比喩を使って表現しています。単に '通勤列車' というよりもこういった比喩を用いた方が聴衆の関心を得やすいからでしょう。比喩 (Simile, Metaphor) については後で説明します。

## 疑問文で始める

Ladies and gentlemen, two phrases here in front of you. I just have one friend, and I have countless numbers of friends. Now a question. Which of these sound better? And which of these are you? And which of these would you rather be?

聴衆に畳み掛けるように三回、疑問文を繰り返し使って関心を得ようとしています。

## 物語の引用で始める

“Snow White, Snow White. Here is the most delicious apple in the world. Why don't you try this?” The Queen, disguised as an old lady deceives Snow White. Snow White, not knowing this is poisonous, takes it, eats and falls into deep sleep. In Japan, doctors also have poisonous apple which kills mothers and babies, that is, labour including drug, in short, LID which induces accelerates child artificially.

‘白雪姫’からの引用です。この例ではLID（陣痛促進剤）をPoisonous Appleという比喩を使って表しています。

## 諺を用いる

There is an English proverb, "Fire is good servant, but bad master" meaning that the fire under control is very useful, but when out of control, it can cause enormous damage. In a way, freedom of the press is similar to fire.

冒頭に英語の諺を持ってきて、fire=freedom of the press という比喩につなげています。

どの例にも共通して言えることですが、Introductionでは英語表現や文章の流れがかなり凝ったものになっています。これはIntroductionの目的というのが先程述べたとおり、聴衆の関心を得ることだからです。

ここで比喩(Metaphor)について軽く述べておきます。

正確にはMetaphorは隠喩、Simileは直喩ですが、ここでは一括して比喩をMetaphorとします。スピーチには説得力が要求されるので、論理的にしっかりとした構成は勿論必須なのですが、そればかり追求すると、聴いていてつまらないスピーチになってしまうこともあります。そういった事態を防ぐのにMetaphorを使います。

以上で挙げたIntroductionの例で使われているものを見て戴ければお分かりだと思いますが、Metaphorを使うことによって、例えばLIDがどういうものなのか、freedom of pressがどういうものなのかイメージしやすくなりますね。

## **Body**

スピーチの中心部分のことです。ここでは、Logic Chart の P・H・C・S または USQ・IS・Significance・ASQ・Suggestion を更に詳しく説明していきます。その際、Supporting Material を使います。つまり、Logic Chart そのものに Supporting Material を付け足したものが Body です。

## **Supporting Material**

Logic Chart のそれぞれの要素をサポートするデータのこと、次の三種類が挙げられます。

### **Fact**

実際に起きた事件、個人の経験等。これは Problem の存在証明等に使えます。

### **Opinion**

権威者、専門家、新聞、雑誌などによる意見。自分の意見に客観性をもたせることができます。

### **Statistics**

統計。Problem の存在証明、Harm の強調等に使えます。

Supporting Material を使うときの注意として挙げられるのは、信頼性はあるか、新しいものか、本当に自分の主張をサポートしているか、です。

Statistics を使うときは単に数字を述べるのではなく、分かりやすい言い方にするというのもポイントです。例えば、「～する医者が 10000 人」と言っても、それが多いのか少ないのかいまいちイメージできませんよね。こんな場合は、「お医者さんの～%が」と言う方が聴衆にとってはイメージしやすいのです。

Body の要素は、基本的には P-S 型だと P・H・C・S、C-A 型だと USQ・IS・Significance・ASQ・Suggestion ですが、論理性を補強し話により説得力をつけるために、次のような要素も入れるといいでしょう。

### Generalization(一般化)

主張がスピーカー個人、あるいは特殊な場合にのみ当てはまるのではなく、その対象はもっと広いのだということを説明することです。以下に例を挙げます。

例)

Negligence of criticism can be seen not only among individuals but also in international situation. I started talking about me and other people but countries are only collections of people and there is no difference in this principle...

「個々人間についてのみならず、国家間についても同様のことが言えますよね。国家というのは、結局は人間の集まりなんですから、基本的には同じような法則が成り立ちますよね。」

### 反論吸収

自分のスピーチを聞いて他人が反論しそうな部分に関して、予め自らそれを提示し、相手の反論を防ぐことです。

You may think,···. But I don't think so, because···

「···って思う人もいるかもしれませんが。しかしそうではないんです。何故なら···。」

## Conclusion

Conclusion(または Ending)は文字通りスピーチに結論を与える部分です。ここでは自分のスピーチの Summary(要約)をいれて、「結局自分が伝えたかったのはこういうことである」と示します。これも全体の 10 パーセントくらいの分量にするのが適当だと言われています。

ここで実際スピーチで使われた Conclusion の例をいくつか載せておきます。

### 額縁構成

**(Introduction)** Now you are an elementary school child. Today you got full marks on a test!! You want to tell the news to someone as soon as possible. You rush homes, open the door with great force and say, “I’m home! Please listen...” However, there is no answer. You must be depressed and feel sad.

**(Ending)** Today, you got full marks on a test. You rush to the day nursery and say, “I’m home!! Please listen!!” “Oh! You look so happy! What happened today?” You can receive the answer you except, and you must be very delighted.

このスピーチでは Introduction と Ending において同じ状況を設定しています。

前者は「テストで満点をとって誰かに話したくてたまらない。」→「しかし聞いてくれる人はいない。」→「意気消沈する。」という流れですが、

後者は「テストで満点をとって誰かに話したくてたまらない。」「聞いてくれる人がいる。」→「嬉しい。」という流れになっています。

このように Introduction と Ending を呼応させることで、作者の出した suggestion によって現状における問題が解決された様子を結論として描写しています。

### 聴衆に行動を促して終わる

Please remember we are partly responsible for corporal punishment. Now is the time we begin to break that vicious circle by strictness about our own lives.

「私たちにもできることはあるはずです。」と聴衆に訴えかけることによってスピーチに結論を与えています。

### 疑問文の形で終わる

Love for everybody, not only for your friends and family but also for the people who'd be excluded from society. That's really what I'd like you to do. Judging by my own experience, I guarantee that they are basically the same in everything as you all. They just have fragile nerves. Now folks, is love so hard to give?

### 同じ言葉を繰り返して終わる

Always have in mind that seeing-eye dogs aren't ordinary pets. Always have in mind how the seeing-eye dog work for users. Always have in mind that it is the eye and the heart.

### ズバっと言い切る

Next time I come to a speech contest, I hope I will hear many speeches with a message. Speak what you want to say by showing yourself with passion and with a message. As a member of I.S., as a president of I.S., and as a speaker, this is my last message for YOU.

どの例についても言えることですが、Conclusion も Introduction と同様かなり凝ったつくりになっていることが分かります。これは Conclusion は単にスピーチを終わらせるきっかけを作るという役割だけではなく、自分の話したことを聴衆の心に少しでも印象付けるという役割も担っているからです。

ここまでで、Introduction、Body、Ending と、Outline の構成要素について一通り分かって戴けたと思います。

以下に P-S 型、C-A 型の Outline の具体例を載せておきます。

## P-S 型

**Topic :** 森林破壊

**Introduction :** 未来の世界の姿 : 20XX 年、森林伐採のせいで世界的に海面が上昇し、既に世界中の 70% が水没。人類は滅亡の危機に面している。

### Body

**Problem :** 世界的規模の森林破壊が今も進行中である。

**Actual data :** 年間に伐採された森林の総面積

**Harm :** 海の水位が上昇→やがて陸地は海面下へ→住宅不足に加え、農地不足による飢餓→人類滅亡。

**Actual data :** 気温、水位の上昇率

**Cause :** 1 我々の資源の浪費

**Actual data :** 試験前の大量のコピー

2 木材の輸出国は工業力がない為、木材を輸出するしかない。

**Actual example :** 青年海外協力隊 A さんの話「彼らにとって木材が唯一の収入源だ」

**Actual data :** 木材の輸出額の GNP に占める割合

**Main Claim :** 我々はなんとしても森林伐採を食い止めなければならない。そして、その方法は輸出国側が木材の輸出をしないようなものでなければならない。

**Solution :** 1 我々は木材や紙の浪費をやめて節約しよう。

2 政府は ODA を強化して輸出国の工業化を助けるよう、我々が政府に働きかけよう

1, 2 を実行することにより cause が打ち消され、P が解消する。

**Ending :** 我々の前には緑の世界への道と破滅の世界への道がある。どちらへ進むかは我々次第なのである。



## C-A 型

**Topic** : 思い出深い結婚式

**Introduction** : 子供の頃、りかちゃん人形よく遊んでいた。服をたくさん持っていたが、一番のお気に入りには白いウェディングドレスだった。

**Generalization** : 女の子なら誰でも綺麗な花嫁姿に憧れる。

**Body**

**U.S.Q.** : 日本の結婚式は費用がかさむ。また内容も画一化されてたいていの新郎新婦は後悔している。

**Actual data** : 実際に 28% の新郎新婦は後悔している。

**Actual example** : 80 人の披露宴は一人当たり三万五千円。平均的なドレスの値段は九十万。新婚旅行や新婚生活の準備も含めば七百万かかる。これはアメリカの十倍近い値段だ

**Actual example** : 披露宴の内容は似たようなスピーチ、歌、お色直しなど、どれも同じ。

**A.S.Q.** : 1 何故こんなに高くつくのか？それは結婚業界が利益を上げたいから。

**Actual example** : 婚約指輪は花婿の 3 ヶ月分の給料が相場だと言われているが、これは宝石メーカーが決めたもの。

2 何故みんな高くてもしかも退屈な結婚式を挙げるのか？それはセットプランの方が楽だからそのまま結婚式場のアドバイスに従ってしまう。

**Ideal Situation** : 結婚式は人生で一番幸せな日。思い出深い結婚式を挙げる。

**Main Claim** : 思い出深い結婚式を挙げよう。

**Suggestion** : 神社などで結婚式を挙げ、お気に入りのレストランでレセプションしよう。

**Advantage** : 節約したお金でよりオリジナリティあふれる思い出深い結婚式ができる。

**Ending** : 結婚式はあなたとあなたのパートナーとの新しい生活の始まりです。疲れて後悔が残るような日ではありません。結婚式に参加した全ての人がこの時を覚えていてくれたらなんて素晴らしいことでしょう。

## Paragraph Chart

Outline を完成させたあと Paragraph Chart を作成します。Paragraph Chart とは、この Paragraph (段落) では Problem の提示をしよう、この Paragraph では Problem の例を入れてみよう、といった具合に段落毎に何を言うのかを書き並べたものです。Paragraph Chart を作成すると自分のスピーチがどんなふうに展開するのかを把握しやすくなります。

Paragraph Chart 作成を行わずに Outline 完成後すぐに English Writing に入る人もいますので、面倒ならこの段階は飛ばして下さっても構わないでしょう。ただ、筆者は Paragraph Chart の段階を踏んだ方が English Writing もスムーズに進みますので、個人的にはこの段階を踏むことをお勧めします。

## English Writing

ここでは Paragraph Chart (飛ばした場合は Outline) で作った流れに添って、内容を英語で書いていくわけですが、ただ何も考えずにそのまま英語に直せばいいというわけではありません。幾つか注意点があります。

### 1 最初から英文で書く。

これは、日本語で考えた文章を英語に訳していくという方法をとってしまうと、できるだけ日本語に忠実に訳そうという心理が働いてしまう為、文が長くなったり、もって回った言い方になったりしてしまうからです。

### 2 短い文で書く。

長い文は言いにくいですし、また聞き取りにくくもあります。関係詞の多用は避けて、複数の文で表現した方が無難でしょう。

### 3 簡単な英語を使う

これも同じく聴衆が聞きやすいようにとの配慮からです。難しい語句を多用せず、易しい言い回しで表現することを心がけて下さい。

### 4 一つの Paragraph には一つの Claim (言いたい事) も一つに限る。

これを行えば、それぞれの段落で何を伝えればいいのかははっきりします。English Writing の時にそれを念頭においておけば、不必要なことを書いたり非能率的な言い回しがしたりすることを避けることができます。

## 5 Paragraph 間の流れをスムーズにする。

話が飛ばないように、疑問文等をいれてスムーズに展開させて下さい。（例、Problem から Harm への導入、Then why is caused by this situation?）

## 6 各 Paragraph では AREA を使うよう心がける。

**A**ssertion(主張), **R**eason(理由), **E**vidence(証拠), **A**ssertion(主張)。最初にその段落で言いたいこと、次にその理由づけ、次に理由づけをする為のデータや事件などを挙げ、最後に Evidence を踏まえて自分がその Paragraph で言いたいことをもう一度言います。

例) 僕はタバコを吸わない。(Assertion)

何故なら健康に悪いから。(Reason)

厚生省によると喫煙者が肺がんになる確率はタバコを吸わない人の 10 倍。(Evidence)

だから僕はタバコを吸わない。(Assertion)

最後にスピーチの分量について述べておきます。日本人が英語のスピーチをする場合、一分間に 110 語から 120 語くらいの速さで話すのがよいとされています。したがって七分間の Prepared Speech の場合、770 語から 840 語くらいが適当でしょう。自分の話すスピードにあった分量で書いて下さい。

## Rewrite

文字通り書き直すことです。

英文が書けたらまず自分でチェックします。英文作成の注意点を参考にして下さい。また、自分で読んでみて、説得力のない所があれば表現の仕方をかえてみて下さい。自分でのチェックが終わったら先輩や友達に見てもらいましょう。分かりにくい表現、流れなどを指摘してもらって、それを参考に書き直して下さい。

この Rewrite の回数が多いほど、いいスピーチになるのは言うまでもありません。

## Title

英語の文章が完成しそのチェックが終わったら、今度はその文章にタイトルをつける必要があります。タイトルは軽視されがちですが、タイトルによってスピーチの第一印象が決まるので、慎重につけなければなりません。ここでタイトルをつける際の注意点を幾つか挙げておきます。

- ・スピーチの内容と関連のあるものにする。
- ・聴衆の興味をそそるようなものにする。

・スピーチの内容がすぐには悟られないようなものにする。  
よいタイトルのつけ方として次のようなものがあります。

- ・有名な映画や歌、小説のタイトルを使う。
- ・ダブルミーニングや **Metaphor** でスピーチの内容を象徴する。

ここで幾つか例を挙げておきます。

Lack of Sunshine 「スマイルしよう」

Love me, I Love You 「献血しよう」

Somebody is waiting 「角膜ドナーに登録しよう」

The Same As You 「在日外国人差別をやめよう」

### **Native Check**

以上で **Prepared Speech** は一応完成です。しかし、自分では正しいと思っても文法等の間違いや、日本的英語というのが隠れていることが多いので、ネイティブに見てもらうようにしましょう。

### **Memorizing**

**Prepared Speech** では原稿を暗記して発表しなければなりません。最初 **Paragraph** 毎に覚えていってそれができたら、**Paragraph** をつなげて覚えていくという方法がやりやすいでしょう。

### **Presentation**

壇上で発表です。スピーチは書き上げておしまいではなくて、発表して初めて完成するものです。精一杯自分の思いを伝えて下さい。

## 4Presentation

これまでは、スピーチの原稿を書き上げる過程について見てきました。しかしながら Prepared Speech の項でも書きました通り、スピーチは書き上げて終わりではなくて、発表して初めて完成するものなのです。ここではスピーチを発表する際の効果的な伝え方について幾つか述べておきます。

### Delivery

スピーチの伝え方のことです。これは Verbal Delivery と Nonverbal Delivery の二つに分類できます。

#### ①Verbal Delivery

声の大きさ、話す速さ、間の取り方などがこのカテゴリーに属します。

### Voice Projection

#### Quality

大きめの声にしても押さえ気味の声にしても、マイクに頼らなくても会場の全ての人に届くような声が理想的です。そういった質がよい声を出すには腹式呼吸が必要不可欠です。腹式呼吸だと同じ声量でも胸式呼吸に比べ伸びのある聴きやすい声になります。

#### Variety

声のトーン（高さ）もスピーチの内容を踏まえて色々変える必要があります。悲しい話や暗い内容を話すときにはどちらかといえば低い声のほうが効果的でしょう。逆に明るい話題のときにはハイトーンで話すほうが好ましいと思われれます。

#### Volume

怒鳴らない程度に大きい声で話しましょう。強調したいところは声を大きくしてみるとか、声の大きさでもバラエティを出すことができます。強調したいところは大き目の声かといえば必ずしもそうではなく、押さえ気味の意志のこもった声も効果的です。

## Pause

間のことです。余韻を残したり強調したりするのに効果的です。また聴衆に考える時間を与えるといった意味もあります。

## Short Pause

文と文の間に軽く間を取りましょう。

## Intermediate Pause

聴衆に疑問を投げかけた後はほんの少し長めに間を取りましょう。また自分のスピーチにとっての鍵となる言葉を言った後も少し間を取れば効果的です。

## Long Pause

内容が大きく変わる段落の変わり目などは長めに間を取ります。

何処でどのように間を取るべきかは、聴衆の反応にもよるので本当は一概には言いがたいのですが、大体上で述べたようなことが基本です。

## Rate

自分が心地よいと感じるくらいの速さで話しましょう。速く喋ると頭が切れると思われるようですが、あまりに速すぎると発音が崩れてしまい聞き取ってもらえないということになってしまいます。特に本番は緊張の為早くなりがちなので、ゆっくり話すように心がけて下さい。大事なところはゆっくりと、そうでないところはさっと流す感じにして、速さにメリハリをつけるようにしてみてください。そうすれば話のポイントを浮き立たせることが出来ます。つまり、大事なものは全体的なスピードそのものではなく、緩急の差であると言えるでしょう。

## ②Nonverbal Delivery

ジェスチャー、アイコンタクト等がこのカテゴリーに属します。

## Gesture

不自然でない程度に使いましょう。例えば、「First...」といいながら人差し指を立てるジェスチャーは比較的やりやすいでしょう。ここでのポイントは、必ずスピーチの内容とジェスチャーを一致させる、ということです。

日本人は普段ジェスチャーを使って話すことが比較的少ないので、ぶっつけ本番では使うのはなかなか難しいです。使うつもりなら暗記段階でどこでどういうジェスチャーを入れるか考えておくとよいでしょう。

## **Eye Contact**

自然に聴衆を見渡すのがポイントです。ジャッジも見ましょう。アイコンタクトが苦手だという人は多いのですが、どんなにいいことを言っているつもりでも目が泳いでいたりすると、聞いている側としては何となく信頼できないような印象を話し手に持ってしまう。

## **Posture**

脚は肩幅くらいに開き、手は軽く演台の上に乗せるか体の前で組むのがいいと言われていますがこれも絶対的なことではありません。とりあえず言えることは、あまり硬くなりすぎ自信を持って堂々と、ということぐらいです。また片足に体重をかけてしまったりはふらふらしてしまいますし、猫背だと何となく悪印象を持たれてしまいますので、こういうことは避けたほうが無難でしょう。

## 5English

英語でスピーチをするからには、綺麗な英語であることが求められます。あまりに癖があるものや、不正確な英語は、頭にも素直に入ってきません。そうすると、どんなにいいことを言っても聞き手に理解してもらえません。

### Pronunciation

日本人が英語を話すときには、ネイティブよりも正確に丁寧に発音することが求められます。発音を矯正するには普段から地道にコツコツと練習するしかありません。その練習方法としては、ネイティブに単語を発音してもらって（もしくは録音された音源を聞いて）それを頭の中に叩き込むか、もしくは発音記号とその発音を覚える、ということが挙げられます。

### Intonation

強弱の繰り返しによって、英語独特のリズムが創り出されていくということが重要です。これも地道にコツコツ練習する以外に矯正する方法はないでしょう。また、発音が多少悪くてもイントネーションが出来ていればネイティブにはちゃんと通じます。その練習方法としては、シャドウイングが挙げられます。シャドウイングとは、英語が録音された音源を聞いてそれにオーバーラップするように話す練習方法です。最初はそのスクリプトを見ながらでも構いませんが、何回も繰り返しているうちに英文を覚えてしまいますので、それからは何も見ないで聞いたとおりに話すというやり方に移行して行って下さい。勿論、最初から何も見ないでやっても構いません。

### 文レベルでのアクセント

意味のまとまりごとに、中心となる単語を強く長く発音します。強く長く発音されることが多いものとしては、名詞、動詞、形容詞、副詞などが挙げられます。また弱く発音されるものとしては、代名詞、関係詞、be 動詞、冠詞、前置詞などが挙げられます。

### リエゾン

前の語が子音で終わり、後ろの語が母音で始まってかつ強く読めない場合、両者がつながって発音される現象です。リエゾンが多いほど英語らしく聞こえます。普段から心がけましょう。

例) There are...



以下主な発音記号と発音の仕方、その例文を載せておきます。

### 主な発音記号

[i:] 唇を横に引く

I didn't mean to hurt Peter's feeling.

[i] イとエの中間音。

I think it's very interesting.

[e] 日本語のエとよく似た音

I met Ted yesterday.

[æ] エとアの中間音。

I'm glad that he will come back to Japan.

[a] 喉の奥の方からア

It's eleven o'clock by my watch.

[a:] 喉の奥の方からアー

My father likes to go to a spa

[a:ɹ] a:の後少し舌先を上を持っていく。

They are working very hard on the farm.

[ʌ] 口をあまり開けずに短くはっきりと喉の奥から

Please come and have lunch with us.

[ə] 力を抜いて軽く曖昧にア

We're going to talk about America today.

[ə:ɹ] 舌を奥に引っ込めるといった感じで発音。

The girl woke up very early this morning.

[ɔ:] 舌の奥に力を入れ口を開き気味に唇を少し丸めて発音。

Paul is tall and has long hair.

[ɔ:ɹ] ɔ:の後舌を引く。

Knock on the door before you came in.

[u] 唇を丸めて発音。

Could you put this book up there?

[u:] 唇を丸め、少し前に突き出すようにして発音。

He's going to move soon.

[ei] 口を開き気味にして[e]を強く[i]を弱く短く。

May I have your name?

[ai] アを強く長く、その後軽くエ。

Why don't we go to the movies tonight?

[ɔ i] 口を大きめに開き唇を丸めてオ、その後軽くエ。

The boys were so noisy.

[au] アを強く長めにその後軽くオ

How about going to her house?

[ou] オを強く長めに、その後軽くウ

I don't know how to open it.

[iə ɹ] iを強めにその後舌先を少し上げる。

I couldn't hear what the engineer said.

[eə ɹ] 口を開き気味にエその後舌先を少

し上げる。

I'll drive my parents to the airport.

[uə ɹ] 唇を少し丸めてウを発音、この後  
r

I'm sure your father will be fine.

[a iə ɹ] アエの後に舌先を少し上げる。

Prices are getting higher and higher.

[p][b] pは破裂音、bはpと口の形は同じ。  
You had better park your car here.

[t][d] tは破裂音、dはtと口の形は同じ。  
Did you talk the teacher?

[k][g] kは破裂音、gはkと口の形は同じ。  
Could you give me another glass of iced  
coffee?

[f] 上の歯を下唇の少し内側に軽くつける。  
His father will visit France in February.

[v] 口の形はfと同じ。  
You have a very good voice.

[θ] 舌先を上歯と下歯の間から少し出し  
し摩擦  
I thought that he would be thirty this  
year.

[ð] 口の形はθと同じ。有声音  
They know each other well

[s] 舌先を上歯の少し後ろあたりに近づ  
け力をいれて発音。

This question seems to be very simple.

[z] 舌の位置はsと同じ。sほど力を入れ  
る必要はない。

I'm too busy to go to the zoo with you.

[ ] 唇を少し丸めてシを発音。幾分力を入れ  
れる。

Show me your new shoes.

[ʒ] と口の形は同じ。喉を震わせて発音。  
力は抜く。

I usually watch television on Saturday  
nights.

[t] 唇を少し丸め破裂を強調するように  
舌先から息を多めに吐き出す。

He teaches French at the church.

[dʒ] t と口の形は同じ。有声音。  
Jack enjoyed travelling by jet.

[ts] tsu とならないように。  
Mary eats lots of sweets.

[dz] 舌先を一旦上につけてから発音。  
She sends Christmas cards to her friends  
every year.

[h] 喉の奥の方から、息を出して h  
How happy he is!

[m] 少し強めに唇を閉じ、鼻から息を吐く  
ように。  
Mike wants some more milk.

[n] 舌先を上歯茎のあたりにつける。  
I know what you mean.

[ŋ] 余分な g が入らないように。

I heard a young boy singing a nice song.

[l] 舌先を上歯茎のあたりにつける。

I didn't listen to his lecture at all.

[r] 唇を丸めウというつもりで、r を発音。

Turn to the right and you'll see the restaurant.

[j] i: よりも更に舌を上げ、力を込めて発音。

I haven't seen you for two years.

[w] u : よりも更に唇を丸め突き出す。

Would you open the window?

[wh] h はあまり意識しない。

Where can I find a white shirt?

## Illustration

English の項ではこれまで Pronunciation, Intonation 等、話すときに必要な注意点を述べてきましたが、スピーチにおいてはどのように描写するか、つまり文章表現も重要です。以下ではその表現方法について述べます。(Prepared Speech の項で触れたことと多少重複する箇所もあります。)

## Illustration

聴衆により分かりやすくより効果的に伝えるための表現方法のことです。

### Illustration の方法

Metaphor やユーモアなどを使いながら、人の五感( see, hear, taste, touch, smell) をくすぐり、イメージをわかせる、理解しやすくなるような表現を使います。

といっても、いまいちピンと来ないと思いますので、以下に少し例を挙げておきます。

### 実際のスピーチにおける Illustration

#### ①Introduction における Illustration

A young mother was strolling, pushing a baby carriage on the sunny street. Her lovely slept peacefully after getting milk. His mother gave him a tender look, hoping his healthy growth. Then, all of sudden, a man who gripped a sharp knife hit the young mother! With her heavy scream, the crimson knife was pointed at a sleeping baby. The killer stabbed him to death without the slightest hesitation. After that, the field stuck four innocent walkers at one fell swoop! On the street, a bloody baby carriage was lying tragically...

the crimson knife は血のついたナイフを表しています。crimson は「深紅の」という意味で血のついた様子が視覚的に表されています。

a bloody baby~では事件が起こった後、道に血のついた乳母車が転がっている様子が描写されていますが、不気味な静けさがよく表されています。また 冒頭の穏やかなシーンと対比させることによってこの事件がいかに悲惨なものであるかということも窺い知ることができるでしょう。

## ②Body における Illustration

Suppose all lights in this hall were turned off right now. You are locked up in a completely dark room without being able to see anything. When you try walking over to the exit for a bright world, it will be nearly impossible to go out without bumping into anyone or anything. This room will be the same in which the blind people live, but the biggest difference is that they don't have a bright world they could walk to. They use seeing-eye dogs to move freely because they have no choice to live in this dark room.

a bright world は暗くした部屋の外を表しています。live in this dark room は彼ら (=目が不自由な人) が光のない世界に住んでいることを示しています。本来なら、a bright room、live in this dark world としてしまいそうな箇所ですが、敢えて入れ替えて使うことによって印象を残しています。

“Oh, what a beautiful morning. Oh, what a beautiful day~!( a deep breath) Oh, my! What is this?” What I saw was not a beautiful view! What I smelled was not the ocean air. Thousands and Thousands of pieces of garbage! Strewn along the beach and in the water. I saw empty cans, plastic bags, cigarette boxes, pieces of wood, firework, bottles, dolls, an an-pan-man- ball missing his nose, and even baby diapers floating on the water. Then such irony to see a detergent container picturing a palm tree and the words, “This product contains pure natural palm extract for the care of your hands.” become one of the pollutant.

会話調の文体をうまく使っていて、状況がぱっと目に浮かびます。an an-pan-man-ball missing his nose と、固有名詞を使うことによってどこかシュールな現実感を出すのに成功しています。また this product~では「この製品は手に優しい天然パーム椰子から抽出した成分を使っているはずの洗剤の入れ物」が結局は汚染源になっているという様子が描写されていますが、「手に優しいはず」なのに「自然を汚すもと」になっているという皮肉な様子がよく表れています。

### ③Conclusion における Illustration

There is a proverb, "Health is better than wealth." However, we are accustomed so much to a wealthy society that we tend to forget this good lesson. Please remember this proverb and my two suggestions. Now is the time to say good-bye and wave hands to the invisible hands.

～をやめよう、と言うところを to say good-bye and wave hands と表現しています。

## 6Extemporaneous Speech

Prepared Speech では前もって原稿を作成するのですが、Extemporaneous Speech (エクステ) ではそれが不可能です。そこが両者の決定的な相違点です。ここでは主に、限られた時間でスピーチを完成度の高いものにするための作成手段を紹介します。

エクステのルールを簡単にまとめておきます。

まず、タイトルが与えられます。タイトルは一つだけ与えられる場合もあれば複数与えられる場合もあります。複数与えられる場合、その選択肢は、One Word, Social で構成されているのが一般的で、まれにこの二つに Sentence というものが加えられていることがあります。タイトルが与えられてから 15 分の準備期間でタイトルを一つ選んでスピーチを作成します。準備期間が終了すれば発表です。発表はメモを見ながら行うことが可能で、制限時間は四分です。

15 分という限られた時間の中でスピーチを作ることからも分かるように、エクステでは Prepared でははかることのできない即興の英語力(English)、即興の論理力(Logic)、即興の構成力(Organization)、広範囲の知識(Knowledge)が試されることになります。

### 作成手順

エクステは短時間で作成しなければならない型のスピーチであるが為、Prepared Speech とは違った手順を踏みます。

- ① Title
- ② Conclusion
- ③ Introduction
- ④ Body
- ⑤ Memorizing
- ⑥ Presentation

## Title

**[時間配分目安：1～2分]** タイトルを選びます。

## One Word

単語一個が与えられてそれをタイトルにしてスピーチを作ります。文字通りの意味で使いやすい場合とそうでない場合があります。使えない場合は **Metaphor**、複合語、第二第三の意味に注目して何とかスピーチに使えるような流れを考えます。**One Word** は **Title Interpretation** (そのスピーチがタイトルとリンクしているかどうか) が重要になってきます。また内容を深めないと意味のないスピーチになってしまいがちです。これをタイトルに選ぶ際には辞書を必ずひくようにしましょう。

例) egg, flavour, colour

## Social

時事問題に関するキーワードが与えられてそれをタイトルにしてスピーチを作ります。つまり今社会で起こっていることを要約したものをスピーチとして発表すればいいわけです。オリジナリティーはあるほうが勿論いいスピーチだと言えますが、準備時間が極めて短い為、エクステではそれほど気にしなくてもいいでしょう。事実を述べたあと自己見解(ジャーナリストの受け売りで可です)を入れます。

例) Ehime Maru, USJ, Makiko Tanaka

## Sentence

諺、著名人の言葉などが与えられてそれをタイトルにしてスピーチを作ります。

例) Love is blind.(恋は盲目、あばたもえくぼ)

## Conclusion

**[時間配分目安：1～2分]** タイトルが決まって次にすべきことは、そのタイトルからどんな結論が導き出されるかを考え文章化することです。なぜならスピーチでは結論こそがクライマックスであり、絶対不可欠な部分だからです。それ故、結論を作る前に準備時間がなくならないように最優先するわけです。勿論、結論はある程度スピーチ全体の構想を練ってから作成して下さい。何も考えず結論を決めてしまうと、後で論理をつなげるのに苦労します。



## Introduction

**【時間配分目安：2～3分】** 結論を決めたら、次に Introduction を作成します。Introduction の役割は Prepared Speech と同じく Attention Getting です。つまり、この部分でしっかりと聴衆の関心をひきつけなければスピーチは聞いてもらえないということです。ですから、Introduction はできるだけきちんとしたものであることが必要になってきます。そのため比較的早い段階で作成するのが望ましいのです。

## Body

**【時間配分目安：6～7分】** Body は Introduction を受け Conclusion を導く部分なので Prepared Speech と同様論理構成をしっかりさせなければなりません。とはいうものの、たいていの人はここまでにかなり時間を費やしているでしょうから、完全に英文化するのは不可能でしょう。ですから、ここでは論理の大まかな骨組みだけを作っておき、肉付け発表のときに即興でがんばるのです。具体的に言えば、骨組みとなるキーワードやキーセンテンスは英語で書いておき、それをサポートする例示や体験談は全て英文化するのではなく、「ここでこの話をいれよう」、「ここではこの例を出そう」、といった具合に箇条書きにしておきます。

ここで少し Body の要素に関して注意点を述べておきます。

## Cause の設定

Problem の原因として考えられるものの中から一つか二つを Cause として提示します。Cause をうまく分析すると Originality が出しやすいので頑張ってください。また、最も大きな原因、または最も解決しやすい原因を提示するべきです。というのは、原因として小さなものを選んでしまうと Solution がどんなに優れていても Problem から生じる Harm を劇的に取り除くことはできないし、解決しづらいものを取り上げてしまうと Solution を考えるのが難しくなるからです。Prepared では構わないかもしれないが、エクステではなにぶん準備時間が限られているので難しいことは避けた方が無難です。

## Solution の設定

Solution を考える際の注意点を提示しておきます。

- ・Solution はできるだけ具体的に描写すること。
- ・実行可能性 (practicability) に気を付ける
- ・実効性 (workability) に気をつける。
- ・最善策であるかどうか。※Counter Plan (代替策、他の Solution) に気を付ける。

基本的には Prepared Speech の場合の注意点と同じです。

## **Memorizing**

**【時間配分目安：2～3分】** エクステは即興ですのですから、暗記とは無縁なものようですが、実はそうではありません。**Introduction** と **Conclusion** はできるだけ暗記して下さい。スピーチではより効果的な **Delivery** を目指さなければなりません。そして、効果的な **Delivery** には、内容の暗記が必須です。しかし、準備に使える時間は限られていますから、完全な暗記は不可能です。ですから、特に効果的な **Delivery** が必要な **Introduction** と **Conclusion** の部分を中心に出来る範囲で行って下さい。

## **Presentation**

準備時間中に作成したメモを見ながらの発表です。ですが、**Delivery** を効果的にするにはやはりアイコンタクトが重要になってきますので、できるだけメモは見ずジャッジ及び聴衆を見る、というスタンスで臨んで下さい。